

公益社団法人日本クラフトデザイン協会

事業評価委員会 議事録（学術・文化の振興のための活動）

日 時：平成31年3月10日（日） 11：00～13：00

※第2回定例理事会の議題として審議された

場 所：日本クラフトデザイン協会事務局 （東京都渋谷区千駄ヶ谷4-5-15-408）

出席者：（理事）磯谷晴弘 菅野靖 岡英司 諏訪薫 内藤広宣 松田光二

吉谷美世子 采罌真澄

（監事）露木清勝

●事業の報告について

- ・担当理事から事業について報告がなされた。

第58回日本クラフト展 クラフトNEXT

会期：平成31年1月6日（日）～14日（月・祝） 9日間

11時～19時（最終日17時）

会場：東京ミッドタウン・デザインハブ

（東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5F）

賞：経済産業大臣賞・日本クラフト大賞1点・優秀賞1点・毎日新聞社賞1点

招待審査員賞3点・U35賞1点・学生賞1点・奨励賞8点

併催：受賞者インタビュー 平成31年1月6日

素材別作品解説 会期中7回

応募数：456人 1193点

入選・展示数：264人 646点

入場者数：9061人（9日間）

以下、各項目の担当理事からの報告と評価委員の意見等

●実施会場について

- ・東京ミッドタウン・デザインハブで6回目の開催となった。年ごとに定着感が増している。会員による周知や東京ミッドタウンの広報協力によって入場者の層が多彩化している。今後も継続した周知を行いたい。

●実施体制について

- ・実行委員会を組織し準備等を行った。事業規模が大きく委員以外の会員の協力も多数得ての実施であった。併催事業も含め各セクションで担当を決めて実施準備が出来たことは良かった。

●応募状況について

- ・前年度より僅かに減少した。
しかしながら応募された作品は質の高い作品が多かった。
中堅・若手の作品に優秀なものが多かった印象がある。これは良い傾向であるが、それと同時に熟練した制作を行うベテラン層への働きかけ、地方自治体のデザイン施設等への働きかけ等更に具体的に検討し周知していく必要がある。
- ・公募展の魅力や意義を分かりやすく伝えていく必要がある
また、デザインという言葉が以前に比べ様々な意味を含んで使用される傾向がある。
クラフトデザインの目指す先等を分かりやすく応募者に伝えることが必要である。
- ・情報発信のシステム等の仕組みを再検討しても良いのではないだろうか

●展示について

- ・前年度に引き続きコストを出来るだけ抑え、質を保つ工夫を行った。審査会場と併せてコスト削減に成功したが、更に検証を重ねる必要がある。
展示に関しては、会員、一般来場者ともに概ね好評であった。前年に続き今年度もテキスタイル作品を空間展示することで会場が分断されることなく全体の見通しも良かった。

●会期中イベント

- ・展示会場と隣接するインターナショナル・デザイン・リエゾンセンターで受賞者インタビューや会員による素材別解説など、本展や作品について理解を深めてもらうイベントの他、チャリティーマーケットやセミナー・ワークショップも開催した。
来場者には大変好評であった。またチャリティーマーケットでは静岡県茶商工業協同組合の協力を得て緑茶サービスを行った。会員作品の器を使用し、会場の滞在時間を長く、また楽しく時間を過ごしていただくことが出来た。
- ・授賞式を初日に行ったことで、入選者の参加が多く、充実した交流の場となった。

●事業目的の達成について

応募者数、入場者数共に目標の数字への達成は果たせなかったが、中堅・若い世代の応募者に優秀な作品が多く、周知の効果は少しずつであるが結果に繋がってきていると感じる。学生部門に関しては、今年度、要項配布先を広げて行った。今後も

クラフト・工芸科だけでなくプロダクト、環境等のジャンル視野に入れて検討する。クラフトの考え方は幅広く、時代とともに変化するもの、しないもの等様々であり、くらしを豊かにという大きな目標を軸に共存している現状の魅力を、わかりやすく伝えていくことが必要である。

また、アート、デザイン両方の資質を持つものであることもPRの要素にしても良いのではないか

4回目となる自転車テーマにした会員によるリレー展示を開催した。今年度はガラスによる自転車で感じる風をイメージした作品が展示された。今後もモノ作りという点での共通性、また自転車のある暮らしの提案等、今後も継続しながら展開していく。

計画段階ではあるものの2021年に台湾での交流展準備が進んでいる。これまで幾度も海外展示を行ってきたが、今回は作家どうしの交流にも力点をおいて計画したい。日本のクラフトの魅力を再確認できるよう準備をしていく。今後も様々な方法で国内・海外においてクラフトの魅力を広め伝えること、またそうした事業を通じて日本のクラフトが更に向上していくよう、今後も継続した活動が必要である。

以上

第58回日本クラフト展 アンケート

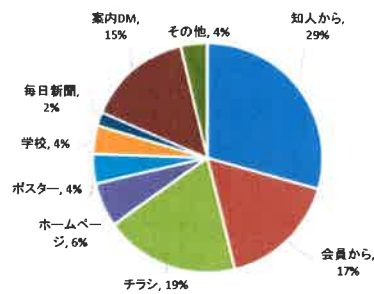
◆開催期間：2019年1月6日（日）～1月14日（月・祝）

◆回答総数：515名

<A>日本クラフト展を何で知りましたか

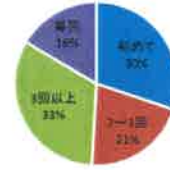
知人から	168	29%
会員から	96	17%
チラシ	108	19%
ホームページ	36	6%
ポスター	24	4%
学校	23	4%
毎日新聞	11	2%
案内DM	85	15%
その他	21	4%
	572	100%

(複数回答)



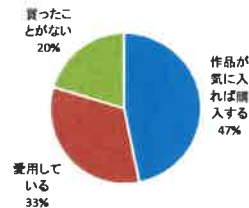
これまでにクラフト展を何回ご覧いただいていますか

初めて	155	30%
2～3回	107	21%
3回以上	168	33%
毎回	85	17%
	515	100%



<C>クラフト作品を生活の中に取り入れていますか

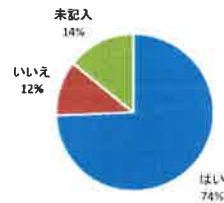
作品が気に入れば購入する	241	47%
愛用している	169	33%
買ったことがない	105	20%
	515	100%



<D>58回日本クラフト展をご覧になっていかがですか

●気に入った作品はありましたか？

はい	383	74%
いいえ	59	11%
未記入	73	14%
	515	100%



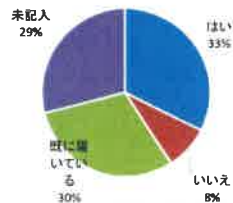
●作品の展示は見やすかったですか？

はい	324	63%
いいえ	49	10%
未記入	142	28%
	515	100%



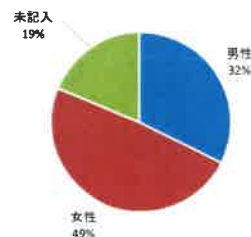
<E>次回の日本クラフト展の案内を希望しますか

はい	167	32%
いいえ	43	8%
既に届いている	156	30%
未記入	149	29%
	515	100%



アンケートに答えてくださった方の<性別>

男性	167	32%
女性	251	49%
未記入	97	19%
	515	100%



アンケートに答えてくださった方の<年齢>

～10代	7	1%
20～30代	63	12%
40～50代	237	46%
60～70代	153	30%
80代～	14	3%
未記入	41	8%
	515	100%

